



# MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS

## 春のみどころは 乗り子の可愛いらしさ

出雲伊波比神社 春のやぶさめ



3月13日、出雲伊波比神社で「春のやぶさめ」が行われました。今年の乗り子は平山の吉野翔太くん（当時5歳）。

春のやぶさめでは、小学校入学前の男の子が乗り子を務め、神社の馬場で固定された的に弓を射る願的がんとうを行います。翔太くんは武士を模した装束姿で馬にまたがり、観客やカメラマンに囲まれて緊張した様子でしたが、願的は無事成功。除災招福、家内安全、郷土繁栄を祈願しました。



## 災害時、被災者とボランティアを繋ぐパイプ

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練



2月21日、ウィズもろやまで、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を開催しました。訓練には、役場や近隣市町の社会福祉協議会職員も参加し、ボランティアと住民の両役を経験しました。近年、災害ボランティアの考え方が広がり、大規模災害発生時には大勢の来所が予測されます。訓練で見つけた課題をふまえ、有事には自助・共助・公助の力で生活復興、自立のための支援を行います。

▶災害ボランティアセンターとは 災害発生時に、被災者ニーズと復興状況に合わせ、各地から訪れるボランティアの受付やマッチングなどを行います。



## 災害時の心強い相談役

埼玉司法書士会と  
「災害に強いまちづくり協定」を締結



2月4日、埼玉司法書士会と、「災害時における被災者等相談の実施に関する協定」を締結しました。災害発生時、司法書士を派遣していただき、被災者の相続、登記、成年後見などに関する相談を行います。

## 心がふれあう2日間

第13回東公民館ふれあい文化祭



2月27日・28日、東公民館で「東公民館ふれあい文化祭」を開催しました。このイベントは、東公民館で活動しているサークルが、体験教室・舞台発表・展示をとおして活動の成果を発表する場です。2日間で約750人が訪れるにぎやかな週末になりました。

## 空き家の利活用に向けて、金融機関とタッグ

埼玉りそな銀行、埼玉縣信用金庫と「空き家の利活用に向けた連携協定」を締結



▲埼玉りそな銀行



▲埼玉縣信用金庫

2月19日、埼玉りそな銀行および埼玉縣信用金庫とそれぞれ、「空き家の利活用に向けた連携協定」を締結しました。金融機関のローン商品の紹介や相談、情報提供などを行い、協力して町内の空き家問題の解決に取り組みます。

## 懐かし〜い遊びを体験

ふれあい中央公民館



3月5日、中央公民館で「ふれあい中央公民館」を開催しました。小学生以下を対象に、おじいちゃん、おばあちゃん世代を中心としたボランティアの皆さんが、けん玉・ベーゴマ・竹馬・竹とんぼ・紙飛行機やあやとりなどの使い方を教えながらいっしょに遊びました。

## 面白い！科学実験ショー

ぜん  
善ちゃんのサイエンスショー



3月5日、ウイズもろやまで、学童保育わんぱくクラブ主催、「善ちゃんのサイエンスショー」が開催されました。サイエンス演芸師の善ちゃんが、身近なものを使った実験をとおして、科学の面白さを伝授。小学生には少し難しいしくみも、ワツと笑える解説であつという間の1時間半でした。

# 毛呂山町が映画の舞台に

かわさきみのる  
河崎実監督作品「大怪獣モノ」毛呂山町で撮影

3月上旬、町内各所で、河崎実監督の特撮映画の撮影が行われました。直前に町の公式LINE@やもろ丸くんのtwitterなどでエキストラを募集したところ、約100人にご参加いただき、3月4日に総合公園で撮影を行いました。ほかにも宿谷の滝周辺や鎌倉街道などで撮影され、中にはもろ丸くんが参加したシーンもあります。毛呂山町の各所が映るこの映画は、今年7月頃公開予定です。  
※毛呂山町では、地域の活性化などを目的に、積極的にフィルムコミッション（映画などの撮影誘致や撮影支援）を行っています。



▲エキストラの皆さんを撮影中。

## ▶参加者の声をチェック！

「LINEとtwitterでエキストラの募集を知り、参加しました。貴重な体験ができました！毛呂山町が大好きなので、映画が町のPRになると嬉しいです。」



▲エキストラに参加した石井麻美さん(左)と村田朱音さん(右)(ともに大学生)

## ▶河崎監督へインタビュー！

- Q. 撮影場所に毛呂山町を選んだのは何がポイントですか？
- A. 毛呂山町は、東京から近くてアクセスに便利。滝や山などの自然が豊かで、怪獣映画の撮影にはピッタリです！



# 小学校卒業の記念樹

光山小学校6年生、卒業記念植樹

2月8日、総合公園グラウンドの東側で、3月に卒業した光山小学校の6年生による卒業記念の植樹が行われました。57人の児童は、協力して土を掘り、桜の成長を願いながら心を込めて作業していました。

この記念植樹は、緑の羽募金事業により行われ、平成25年度から町立小学校で順番に行っています。次年度以降も継続して桜の植樹を行う予定です。

